

みずたま

(児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援)

営業日 月曜日から土曜日

(ゴールデンウィーク、お盆、お正月など休業になることがあります。)

営業時間 9時から19時

サービス 平日 10時から19時(祝日も営業しています。)

提供時間 土曜日 8時30分から17時30分

(外出療育や活動内容により変更になる場合があります。)

送迎 していません

所在地 高梁市伊賀町8番地

連絡先 (0866)22-3611

夜間・緊急時 090-7376-4877

令和7年2月24日 作成

colorの理念

communication

お子さん、ご家族、お子さんの通われている園や学校、さまざまな専門職、地域の方々とコミュニケーションをとっていきます。また、スタッフ間の日常的なコミュニケーションをとることを大切にします。

our community

地域の中で必要とされる社会資源のひとつとなることができるように努めます。地域の状況、ニーズを確認しながら、私たちにできることを一つずつ積み重ねていきます。

responsibility

与えられた業務ひとつひとつに責任をもち取り組みます。他の専門職とも連携をとり、互いの強みを活かしながら、最後まで業務を達成することを目指します。

opener

今何を必要とされているか地域に足りていないところは何か、福祉サービスだけでなくNPOとしてできることを考え取り組んでいきます。

love

利用者の方にも、ご家族にも地域にも愛情をもって接します。スタッフも互いに愛情をもって関わることで、働きやすい職場環境をつくれます。

支援方針①

～支援の流れ～

お子さん・ご家族の ニーズの聞き取り

お子さん、ご家族がどんな生活を希望しているかを教えていただきます。少し先の成長したお子さんのイメージを共有させてください。

お子さん、ご家庭等 アセスメント

事業所をご利用いただきお子さんができること、少し苦手なこと、できかけていることを確認していきます。ご家庭での様子を含めて成長の確認をします。

支援計画 作成

お子さん、ご家族のニーズやお子さんの理解や特性、学び方を考慮し、約6ヶ月で達成できそうな目標を設定していきます。現在の生活の中で優先すべきことをご家族等と一緒に検討していきます。

支援計画に基づく 支援の実施

支援計画に沿って、実際に支援を提供していきます。お子さんの特性、学び方をふまえながらお子さん一人ひとりに合った支援方法を検討し、楽しみながら学ぶことができるようにしていきます。

目標の達成状況 今後の課題の確認

支援計画の評価を行います。計画策定時と比較し成長したところ、どのような関わりがお子さんの学びにつながったかなどを評価します。また、次の課題も一緒に確認していきます。

支援方針②

～スクラム作戦

それぞれの役割～

園・学校

初めて経験する集団活動の場面です。友だちとの関わりを通じた社会性の成長、個々に応じた学習などお子さんが今後の社会生活において必要な力を身に付けることができるような支援をお願いします。

みずたま

個別に応じた支援を通じて、お子さんの「できた」「もっとやりたい」を伸ばせる支援を提供します。お子さん一人ひとりの学び方、特性に合わせた支援していきます。

相談支援

家庭、園や学校、地域等でのどのような生活を希望するかを確認してください。必要な福祉サービスやその他の社会資源とつなぎ、利用の状況や今後の課題を共有させてください。

お子さん

お子さんを中心に関係機関がそれぞれの役割を持ち、連携していきます。やりたいことやたのしいことを見つけてください。

地域資源

福祉サービス以外にも塾や地域イベント、日常の買い物などで学ぶことができます。地域の一員として活躍できるように地域の中での見守りをお願いします。

家族

お子さんらしい成長のために、日々の生活の中で生活リズムを整えること、愛情をたっぷり注ぐこと、できたことをしっかりほめることなど家族にしかできない役割をお願いします。

5領域の支援

健康・生活

お子さんがの心と体の健康を確認していきます。睡眠、食事、排泄等の基本的な生活リズムを身に付けられるようにご家族と一緒に支援していきます。また、構造化等により安心して学べる環境づくりをしていきます。

運動・感覚

姿勢の保持や運動機能などを確認していきます。持たれている感覚機能を十分に活用できるように支援をしていきます。また、感覚の特性(過敏や鈍麻)をふまえて環境を整理をしていきます。

人間関係・ 社会性

相手を意識して真似をしたり、遊んだりしながら社会性や対人関係の芽生えを支援します。また、感情のコントロールや相手への気持ちの伝え方なども学べるように取り組んでいきます。

言語・ コミュニケーション

お子さんに合わせたコミュニケーション方法を探り人とのコミュニケーションを楽しむことができるように支援します。また、相手を意識し、場面に応じたやり取りができるように支援していきます。

認知・行動

お子さんが理解できていること、芽生えていることを確認しながら、できる力を伸ばすことができるように支援していきます。認知の特性を踏まえて、個々の学び方に合わせて伝えていきます。

支援プログラム (児童発達支援)

先生とお勉強

お子さんの芽生えを大切に、目標を設定して取り組んでいます。就学に向けて、先生に指示された課題に取り組んだり、わからないことを聞いたりすることができるよう練習していきます。また、楽しめる遊びが広がるように支援をしていきます。

ひとりでお勉強

先生とお勉強でできるようになったことを、一人で自信をもって取り組めるように支援していきます。一人で最後まで取り組めるよう、刺激を少なくしたり、提示の方法を工夫したり、環境を調整していきます。

生活の支援

ご家庭や所属園などの様子を伺い、生活の中で必要なスキルを獲得できるように支援していきます。トイレや着替えだけでなく、お手伝いなどお子さんが楽しみながらできるように取り組んでいきます。

遊びの支援

お子さんの興味関心に合わせて遊びの提供をしていきます。必要に応じて遊びのルールを視覚的に提示することで、いろいろな遊びにチャレンジしたり、友だちと関わりながら楽しめるように支援していきます。

小集団療育

就学に向けて、黒板に提示された時間割や先生からの指示に注目をしたり、手を挙げて発表したりすることなどの練習をします。小集団でのやり取りの中で、お友だちを気にしたり気持ちを伝えたりすることができるよう支援していきます。

支援プログラム

(放課後等 デイサービス)

生活の支援

外出療育などを活用しながら、生活の中でのルール、マナーなどを学ぶ機会を提供します。また、ストレスの発散やクールダウンの方法についても一緒に考えたり、試したりしながら一緒に整理していきます。

遊びの支援

お子さんの興味関心が広がるように遊びの支援を行います。将来の余暇につながるように家庭でも遊べる余暇活動を提案したり、休憩する、一人で過ごす時間も大切にしています。

先生とお勉強

生活の中でできることを増やすだけでなく、友だちとの関わりについて一緒に考えていきます。お子さんの捉えと周囲の捉えの違いを確認したり、どのように振舞えばよいか、伝えればよいかなど具体的なやり取りについて支援していきます。

ひとりでお勉強

友だちが近くにいなくてもすべきことが最後までできる力を養っていきます。必要に応じて宿題に取り組むこともできます。自分でできた喜びを感じることができるよう支援していきます。

小集団療育

小集団での遊びや学校でのグループ活動を想定して設定していきます。友だちと協力したり、話し合いをしたりすることで、友だちと一緒に過ごすことの楽しみを感じられるように支援していきます。小集団の中でも必要な個別支援を実施していきます。

主な行事・活動

法人行事

- ・なつまつり
- ・スタンプラリー
- ・ウィンターフェスティバル

colorの活動を知っていただく機会の一つとして企画しています。地域の方々と一緒に行事を楽しみます。

屋内行事

- ・調理活動
- ・工作活動

活動を通じて、友だちと協力して作ったり、ものを共有しながら活動を進めていったりします。説明書を見る力も身に付けていきます。

外出療育

(公共交通機関の使用)

- ・バスや電車乗車
- ・運賃の支払い
- ・切符の購入

公共交通機関を使うことで、待つ時間の過ごし方、使用時のマナー、時間を意識することの経験を積んでいきます。

外出療育

(公共施設の使用)

- ・ボウリング
- ・体験活動
- ・映画鑑賞

各外出先でのルールやマナーを学ぶと共に、友だちと一緒に外出する楽しさを経験を積んでいきます。

外出療育

(買い物活動)

- ・商品の選択
- ・店でのマナー
- ・お金の管理

買い物の経験の中で、お金の管理、計算の方法を学び、お店の人とのやり取りや友だちとの買い物体験の機会を提供していきます。

その他の支援

家族支援

日々のご利用の前後でお子さんの成長に関する相談をお聞きします。また、希望に応じて個別相談も受け付けています。ペアレントトレーニングや親の会のご紹介もしています。

移行支援

スクラム会議を通じて就園、就学、就職先との情報を共有していきます。お子さんができていること必要な支援をお伝えすることで次の機関へお子さんがスムーズに移行し、楽しく過ごせるように支援していきます。成長の記録ファイルも活用していきます。

スタッフ研修

スタッフの支援の質の向上のため、定期的に外部講師による研修、専門職アドバイザーによる指導を受けています。また、スタッフ同士で知識や技術を高めるため研修やケース検討を行っています。

地域連携

移行の時期だけでなく、少なくとも年に1回はスクラム会議（所属先を含めて会議）を実施し、お子さんの成長や課題を確認していきます。所属先だけでなく、医療機関や保健師、学童など関係する機関と連携していきます。

地域支援

児童発達支援センターと連携しながら、地域住民への啓発、理解促進に努めます。また、ボランティア、実習生等を積極的に受け入れていきます。